

赤潮発生状況について

里 圭一郎・天真 正勝

赤潮情報伝達事業の一環として、県下における赤潮発生状況を取りまとめたので報告する。なお、赤潮発生時などの情報収集、現場における赤潮の推移状況、被害発生調査等は前年と同様の方法で実施した。

結 果

表1に平成12年の赤潮発生状況、図1に赤潮発生件数と被害件数の推移、図2に赤潮形成域の分布をそれぞれ示した。本年は7件の発生が認められ、前年より5件多かった。また、漁業被害は発生しなかった。

椿泊湾奥では6月中旬に*Heterosigma akashiwo*、7月上旬に*Gonyaulax polygramma*による赤潮がそれぞれ確認された。

なお、*Heterosigma akashiwo*による赤潮は平成9年にも同海域で同時期に発生している。

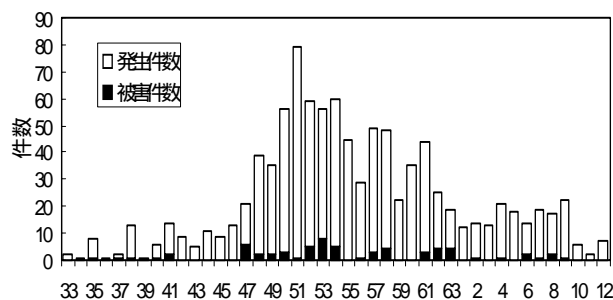
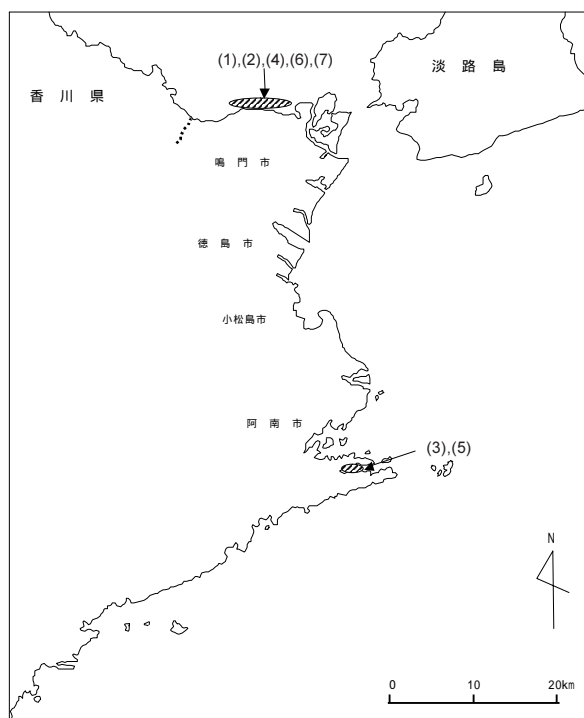


図1 赤潮の発生件数と被害件数の推移



図中の番号は表1に示した赤潮の番号を示している。

図2 赤潮形成域の分布

表1 平成12年の赤潮発生状況

番号	発生期間	日数	発生海域	赤潮構成種名	漁業被害	最高細胞数(cells/ml)
1	4/8 ~ 4/30	23	北灘沿岸	Noctiluca scintillans	無	
2	6/13 ~ 6/20	8	北灘沿岸	Noctiluca scintillans	無	
3	6/14 ~ 6/20	7	椿泊湾	Heterosigma akashiwo	無	7,000
4	7/10 ~ 7/16	7	北灘沿岸	Noctiluca scintillans	無	
5	7/5 ~ 7/10	6	椿泊湾	Gonyaulax polygramma	無	200
6	10/17 ~ 10/20	4	北灘沿岸	Mesodinium rubrum	無	1,350
7	10/24 ~ 10/30	7	北灘沿岸	Noctiluca scintillans	無	